

学習資料の活用促進について

1 学習資料に対する意見

地域教材の資料として、単元との関連を意識したとりまとめ方法、豊富なデータ掲載等に対して一定の評価を得たが、学校現場での活用に当たっては、様々な課題が指摘された。

現在の掲載内容については、写真や場所の追加、児童自身が活用可能な掲載方法の検討を要望する意見が、追加すべきテーマについては、湿原の保全や地域の産業に関する資料の掲載を要望する意見が主なものであった。

学習資料の授業での活用については、教員への資料の提供方法に関する意見、利用者として児童も想定すべきとの意見があり、多数を占める釧路湿原に関心が薄い教員への活用促進を行うためには、学校現場や教員の状況を考慮した戦略の必要性が指摘された。

掲載している各資料の内容について

対象となる学習資料	意見趣旨	意見概要
釧路湿原および 周辺の地層	写真の追加	・地層に見られる各層の質感や構成物が関連してわかる写真の掲載。
	紹介場所の追加	・学校に近い場所の地層の紹介。
釧路湿原に生息する 生き物の食物連鎖	写真の追加	・多様な動植物（特に植物）の写真の掲載。 ・食べる食べられるという実感を促す写真の掲載。
	児童の興味を引く情報の追加（児童自身の活用を前提）	・イラストでの紹介種は鳴き声や種に関する情報の充実。
流れる水のはたらき ～釧路川	紹介場所の追加	・市街地を流れる川の様子がわかる写真。 ・下流部の写真。
	児童自身の活用を前提とした掲載内容に	・情報を絞ってシンプルにし、児童が活用できる内容に。

追加すべきテーマについて

意見趣旨	意見概要
湿原の保全に係る情報があると良い	・湿原の現状と課題、保全していくための方策等の情報があると良い。(乾燥化、外来種等)
調べ方に関する情報があると良い	・児童自身が追求できる、身近な環境の調べ方に関する情報があると良い。
地域の産業や「人」「生活」に係る情報があると良い	・そうした分野があれば社会科や生活科に広がる。 ・湿原と関わってきた昔からの人々の話題があると、より魅力的なものとなる。 ・総合での活用を考えれば、湿原に関わる人達の話題が欲しい。再生事業についても簡単に紹介があると良い。
湿原と海のつながりを感じさせる資料があると良い	・釧路市内では湿原は身近ではなく、湿原だけでは興味が湧きづらい。

学習資料の活用にあたっての意見

意見趣旨	意見概要
資料の位置づけ、教科との関連がわかりづらい	・湿原への訪問の促進、児童自身による活用、教員の授業用補足資料としての活用のいずれを目的としたものか学習資料から読み取れない。 ・湿原に関心がある教員は現在の内容で活用が進むであろうが、興味がない教員への利用を促す目的であれば、教科書との関連付けをより明確に打ち出すことが必要。また、説明の追加や資料の充実だけではなく、活用されるための戦略が重要。
児童自身の活用を前提とした掲載内容に	・湿原に興味を持った児童の素朴な疑問に応える資料の掲載。 ・総合では時間的な制約もあり、休暇期間に各児童が自主学習する機会をとっており、教員が間に入って情報を児童に渡すことが難しい状況もある。

2 追加掲載する情報、新たに作成する学習資料について（案）

教員から得られた意見を踏まえて、以下のように資料の追加を検討することとする。

項目	教員からの意見	方針案
現在の掲載内容について	写真の追加、紹介場所の追加	各学習テーマについて、追加掲載する情報を収集し可能な範囲で今年度追加掲載。 例) 地層の写真、動植物の写真、生き物のトピック、釧路川下流部・支流の情報追加
	児童自身が活用できる学習資料	学習資料の作成過程における議論を踏まえて慎重に検討
追加する学習資料について	湿原の現状、課題、保全に係る情報	関連サイトのリンクを掲載
	調べ方に関する資料	
	地域の産業等に係る情報	事例紹介として、塘路湖における育てる漁業、鶴居村におけるタンチョウとの酪農業との共生を目指した取り組みを紹介
	湿原と海のつながり	要検討

3 学習資料の活用促進に向けて

教員等より得られた意見から、釧路湿原を題材とした地域素材としては高い評価を得たが、素材自体の価値を高めたからといって実際に授業等で活用されることは少なく、授業での活用を促すための仕組みが両輪として必要である旨指摘があった。

このため、環境教育ワーキンググループにおいて、学習資料の活用促進に向けた具体案を検討し、今後、関係主体との調整を経て実践していくこととしたい。